

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	北翔大学短期大学部
設置者名	学校法人北翔大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名		夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
				全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
短期大学部	ライフデザイン学科	キャリアデザインコース	夜・通信	2	4	4	10	7	
		ファッション舞台アートコース	夜・通信			2	8	7	
	こども学科	夜・通信	0		10	12	7		
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページ http://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/infopublic_jitumu.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北翔大学短期大学部
設置者名	学校法人北翔大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ http://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/financial_information_2018H30.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	北海道町村会 常務理事	令和元年5月 28日～令和5 年5月27日	行政・教育関係機関 との連携
非常勤	社会福祉法人 溪仁会 理事長	令和元年5月 28日～令和5 年5月27日	医療・福祉関係、 企業との連携
非常勤	株式会社FM北海道 常務取締役（前職）	令和元年5月 28日～令和5 年5月27日	メディア関係機関、 企業との連携
非常勤	川本謙一級建築士事務所 代表	平成29年6 月1日～令和 3年5月31日	スポーツ関係団体機関、 企業との連携
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北翔大学短期大学部
設置者名	学校法人北翔大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>全ての科目について、詳細なシラバスを作成している。作成に当たっては、学習支援委員会において、シラバス作成における記載事項を定め、シラバス記載要領とともに示し、記載方法の統一を図っており、授業担当者は、示された記載要領に沿ってシラバスを作成している。</p> <p>シラバスの記載事項は、ねらいと到達目標、各回の授業計画と事前学習の明記、テキスト、参考資料、成績評価の方法並びにその割合、質問などへの対応、履修に際しての留意事項等としている。また、平成 29(2017)年度から、教授方法の工夫・開発の一環として、講義等におけるアクティブ・ラーニングの取り組みをより積極的に推進するため、具体的な学習形態等を明示している。</p> <p>シラバスの作成過程は、例年前年度の 12 月までに学習支援委員会でシラバス作成の方針・留意事項等をまとめ、1 月下旬に web システムでの入力を授業担当者に依頼する。その後印刷データとして集約し、印刷業者に入稿、校正等を行っている。なお、初稿の確認の際に、学習支援委員がシラバスの内容を確認する工程を設けている。校正等を経て、3 月末に冊子として納品され、新入学生には入学式当日、在学学生には新年度オリエンテーションの際に配布している。また、完成した冊子を PDF 化し新年度当初にホームページに掲載し公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>シラバスは冊子として印刷し、学生及び学内関係者等に配布するほか、本学ホームページ及び学生ポータルサイトから公表している。</p> <p>・シラバス URL http://www.hokusho-u.ac.jp/undergraduate/syllabus/</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

単位認定については、学科のディプロマ・ポリシーを踏まえ、学則に示す基準に基づいて行われている。

単位認定の対象者については、①履修登録をした者、②授業時間の3分の2以上出席した者、③授業料、その他の納付金を納入した者を対象としている。

評価方法については、講義等における多様な評価方法をとることを推進しており、シラバスには成績評価の方法を記載している。評価方法は、筆記試験、実技試験、課題評価、作品評価、受講態度等共通項目をたて、評価の配分を示し、補足欄にその詳細を記載している。なお、評価については、S・A・B・C・Dの5段階によって評価し、SからCまでを合格とし単位が与えられる。

各科目における成績評価については、多様な評価手段を用いている。そのため、評価方法、評価の割合についてはシラバスに記載している。なお、段階を設けた成績評価の意味や数値、計算等については学生便覧に記載し、学生ポータル等も活用し学生には周知している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学では、GPA(Grade Point Average)制度を導入しており、S=4.0 A=3.0 B=2.0 C=1.0 D=0.0 としている。GPAの計算は、以下のとおりである。

$$\text{学期 GPA} = \frac{(\text{その学期に評価を受けた科目で得た GP}) \times (\text{科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{その学期に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

$$\text{年間 GPA} = \frac{(\text{その学年に評価を受けた科目で得た GP}) \times (\text{科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{その学年に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

$$\text{通算 GPA} = \frac{((\text{各学期に評価を受けた科目で得た GP}) \times (\text{その科目の単位数}) \text{の合計}) \text{の総和}}{(\text{各学期に評価を受けた科目の単位数の合計}) \text{の総和}}$$

GPAは、学生の履修指導、奨学金の選定、学業表彰対象者の選定等に活用されており、教員は、学生のGPAデータをもとに授業改善に役立っている。なお、CAP制度については実施していない。

これらGPA制度等については、学生便覧に記載し学生に説明している。また、学生本人が自分の学生ポータルの成績照会画面でGPAを確認することができるなど学生への周知が図られている。

<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>GPA 制度の説明と算出方法等については学生便覧に記載している。学生便覧は本学ホームページに掲載され、学内外を問わず誰でも閲覧することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生便覧ホームページ URL http://www.hokusho-u.ac.jp/undergraduate/handbook/college/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ディプロマ・ポリシーは、大学案内、学生便覧、学科通信及びホームページ等に明記し、学生には、新入生オリエンテーション、クラスオリエンテーション等機会あるごとに周知に努めている。また、保護者懇談会、学外発表会等の多様な機会を通して学内外の関係者に公表している。さらには、教授会、学科会議等により教職員に対しても周知するとともに、非常勤講師懇談会の際に外部講師への周知にも努めている。</p> <p>短期大学の卒業要件単位は 62 単位である。卒業認定については、学科会議で単位の修得状況などについて厳正に審査を行い、適正に処理した上で教授会に諮り、審議の上決定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ディプロマ・ポリシーについては、大学案内、学生便覧、本学ホームページ等で公表している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学案内 (送付依頼先・北翔大学アドミッションセンター) ・ 学生便覧 ホームページ URL http://www.hokusho-u.ac.jp/undergraduate/handbook/college/ ・ 学科ディプロマ・ポリシーホームページ URL http://www.hokusho-u.ac.jp/school/juniorcollege/index.html http://www.hokusho-u.ac.jp/school/juniorcollege/lifedesign/index.html http://www.hokusho-u.ac.jp/school/juniorcollege/childhood/index.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	北翔大学短期大学部
設置者名	学校法人北翔大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ホームページ http://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/financial_information_2018H30.pdf
収支計算書又は損益計算書	大学ホームページ http://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/financial_information_2018H30.pdf
財産目録	大学ホームページ http://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/financial_information_2018H30.pdf
事業報告書	大学ホームページ http://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/financial_information_2018H30.pdf
監事による監査報告(書)	大学ホームページ http://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/financial_information_2018H30.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学ホームページ http://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/corporation.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 大学ホームページ http://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/jaca.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 ライフデザイン学科
<p>教育研究上の目的（公表方法：学生便覧、本学ホームページ、大学案内） http://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/infopublic_01_01.pdf</p> <p>（概要） ライフデザイン学科は、教養教育、キャリア教育を通じて社会人としての基礎力を身につけ、キャリアデザイン、ファッション舞台アートに関わる専門的知識・技能を自己のライフデザインを描きながら学び、地域・社会で活躍する人材の育成を目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：学生便覧、本学ホームページ、大学案内） http://www.hokusho-u.ac.jp/school/juniorcollege/lifedesign/index.html</p> <p>（概要） ライフデザイン学科では、以下に示す資質・能力等を修得した者に学位を授与します。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>(1) 感性豊かな、魅力ある人間性を持ち、社会人としての幅広い教養を身に付けている。 (2) キャリアデザイン、ファッション、舞台芸術のいずれかの専門分野での学修を通して、社会に参加していくための実践的な智恵を身に付けている。</p> <p>【思考・判断】</p> <p>(3) 自らのライフステージにおいて課題を設定し、その課題を解決するために、専門分野での学修を敷衍し、考察することができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>(4) 地域社会において、積極的に自身の学修成果を還元することができる。 (5) 他者を尊重し、共生社会の実現に寄与することができる。</p> <p>【技能・表現】</p> <p>(6) 専門分野での学修を通して、高い職業的スキルを身に付けている。 (7) 自身の考えや立場を他者に伝え、他者との調整ができるコミュニケーション能力を身に付けている。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：学生便覧、本学ホームページ、大学案内） http://www.hokusho-u.ac.jp/school/juniorcollege/lifedesign/index.html</p> <p>（概要） ライフデザイン学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、以下の方針に基づき教育課程を編成します。</p> <p>【教育内容】</p> <p>(1) 短期大学部共通科目では、短大での学修への導入科目として「基礎教育セミナーⅠ」、「基礎教育セミナーⅡ」を配置する他、英語、情報機器操作の基礎を修得する科目を配置している。 (2) コース共通科目の必修 4 ユニットでは、本学科の 5 つの教育の柱である教養・専門・総合・キャリア・編入教育を理解するための「ライフデザイン」、「キャリアデザイン」等の科目を配置、2 年次に配置される「専門ゼミⅠ」、「専門ゼミⅡ」では、各自が設定した課題について、1 年間研究し、論文、作品として成果物の発表を行う。 (3) コース共通科目の選択 4 ユニットでは、併設の北翔大学との連携により、デザイン・美術・健康づくり・第 2 外国語等の科目を配置し、幅広い教養を身に付ける。また、本学科の特色の 1 つである地域密着型インターンシップ科目として、「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」を配置している。 (4) コース専門科目のキャリアデザイン 4 ユニットでは、経済・経営・秘書・会計・簿記・</p>

地域等に関わる科目を配置し、学期・年次進行に伴い、基礎から発展へと段階的に学修できる体系としている。

(5) コース専門科目のファッション4ユニットでは、理論・作品制作・ビジネス・ファッションショー構成等に関わる科目を配置し、学期・年次進行に伴い、基礎から発展へと段階的に学修できる体系としている。

(6) コース専門科目の舞台芸術4ユニットでは、バックステージ・演技・声優・ダンス等に関わる科目を配置し、学期・年次進行に伴い、基礎から発展へと段階的に学修できる体系としている。

【教育方法】

(1) コース専門科目では、双方向型授業展開を重視し、Plan→Do→See→Thinkのサイクルの循環により、知識・スキルを高める学修を行っている。

(2) コース専門科目では、学内外における実習を多数設定し、学修内容を実践する機会を用意している。特に、地域や異世代と交流し知見を拓けさせる実習を重視している。

(3) 学科独自ツールである「履修記録ノート」により、入学時からの目標設定と学期末、年度末等の節目における達成度の確認を行っている。

(4) 担任制度により、入学時、学期末、年度末等の節目に面談を行い、学修状況確認と卒業後の進路について指導を行っている。

【教育評価】

(1) 各授業科目において、ディプロマ・ポリシーに掲げた資質や能力を修得させるために、カリキュラムマップ上の科目の位置付けを考慮した総合的な評価を行う。

(2) 総合的な評価は、各授業科目の特性に応じ「筆記試験」、「実技試験」、「課題評価」、「作品評価」、「受講態度」、「確認テスト」、「発表」等を組み合わせて多角的に行う。実習を含む科目では、実習への取組状況や積極性、貢献度等も含めて評価を行う。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：学生便覧、本学ホームページ、大学案内、学生募集要項）

<http://www.hokusho-u.ac.jp/school/juniorcollege/lifedesign/>

（概要）

本学科では、以下に示す資質・能力等を身に付けた者を受け入れます。

(1) 高等学校の教育課程を修了し、高等学校卒業に相当する学力を身に付けている。

(2) 高等学校までの履修内容を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力の基礎的な内容を身に付けている。

(3) キャリアデザイン、ファッション、舞台芸術のいずれかの専門分野に興味を持ち、修得した知識や経験を社会で役立てたいという意欲がある。

(4) 他者の考えに耳を傾け、理解しようと努める態度を有している。

(5) 自身の興味や考えを論理的に考察し、他者に説明することができる。

学部等名 こども学科

教育研究上の目的（公表方法：学生便覧、本学ホームページ、大学案内）

http://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/infopublic_01_01.pdf

（概要）

一般教養に関する広い知識を学ぶとともに、こどもの理解、こどもを取り巻く環境や社会的課題及び子育て支援に関する専門的学芸・技術を学び、教育・保育等に関わる優れた実践力を有する人材の育成を目的とする。

<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：学生便覧、本学ホームページ、大学案内） http://www.hokusho-u.ac.jp/school/juniorcollege/childhood/index.html</p>
<p>（概要） こども学科では、以下に示す資質・能力等を修得した者に学位を授与します。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>(1) 感性豊かな、魅力ある人間性を持ち、社会人としての幅広い教養を身に付けている。 (2) 保育・教育の分野及び保育、音楽、教育のいずれかのコースでの専門的な学修を通して、保育者・教育者として社会に参加していくための実践的な知恵を身に付けている。</p> <p>【思考・判断】</p> <p>(3) 自らの生涯設計において課題を設定し、その課題を解決するために、専門的な分野での学修を生かし、社会に役立てようと考察することができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>(4) 教育現場及び地域社会において、積極的に自身の学修成果を還元することができる。 (5) 他者を尊重し、共生社会の実現に寄与することができる。</p> <p>【技能・表現】</p> <p>(6) 保育者・教育者を目指す専門分野での学修を通し、高い職業的スキルを身に付けている。 (7) 自身の考えや立場を他者に伝え、他者との調整ができるコミュニケーション能力を身に付けている。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：学生便覧、本学ホームページ、大学案内） http://www.hokusho-u.ac.jp/school/juniorcollege/childhood/index.html</p>
<p>（概要） こども学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、以下の方針に基づき教育課程を編成します。</p> <p>【教育内容】</p> <p>(1) 短期大学部共通科目では、短大での学修への導入科目として「基礎教育セミナーⅠ」、「基礎教育セミナーⅡ」を配置する他、英語、情報機器操作の基礎を修得する科目を配置している。 (2) 本学科の3つのコース（保育・音楽・教育）では、共通に学修する「コース共通科目」として、「保育士関連科目」「保育士・幼稚園教諭関連科目」「幼稚園・小学校教諭関連科目」等があり、その中に関連する科目を配置し、2年間で履修する学びの土台作りを行っている。 (3) 「コース共通科目」での学びを通して、「社会福祉主事任用資格」の取得を位置付けている。 (4) コース専門科目では、「保育コース」「音楽コース」「教育コース」それぞれの専門性を伸ばすべく、より高度で専門的な科目を開設し、そのコースにおける必修科目として位置付けて学びの深化を図っている。 (5) 「コース専門科目」での学びを通して、「保育コース」では「幼児体育指導者検定2級」、「音楽コース」では「幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格2級・1級」を位置付けており、「教育コース」では「こども環境管理士2級」の取得を推奨している。 (6) このように、学科横断的な「コース共通科目」そして専門性を重視した「コース専門科目」へと基礎から専門へと2年間で段階的に学修できる体系としている。</p> <p>【教育方法】</p> <p>(1) コース共通科目では、0歳から18歳までの発達段階に応じたこども理解や指導の方法、ならびにその年齢幅においても普遍的である教育に対する情熱やこどもに対する接し方などを、一貫して学べるようにしている。 (2) コース専門科目では、自主的で対話的な深い学びを重視し、知識やスキルなどの他、コミュニケーション力を高める学修を行っている。 (3) コース専門科目では、保育所、児童養護施設、幼稚園、小学校での実習を設定し、学修内容を実践する機会を用意している。それらの実習では、こどもに関わり、先生方と協</p>

<p>力して経験を深め、教育に対する意欲をさらに高めることを重視している。</p> <p>(4) 担任制度により、入学時、学期末、年度末等の節目に面談を行い、学修状況確認と卒業後の進路について指導を行っている。</p> <p>【教育評価】</p> <p>(1) 各授業科目において、ディプロマ・ポリシーで示した能力や資質が育成されているかどうかを見極める振り返りを行う。また、実習での活動の様子や積極性なども含めて評価する。</p> <p>(2) 授業後に、学びの振り返りを行うなど、習熟度を学生自ら確認できるようにする。</p> <p>(3) コース共通科目、コース専門科目、実習での活動の様子、免許・資格取得状況等から、2年間（長期履修生は3年間、4年間）の学びの成果を総合的に評価する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：学生便覧、本学ホームページ、大学案内、学生募集要項）</p> <p>http://www.hokusho-u.ac.jp/school/juniorcollege/childhood/</p>
<p>（概要）</p> <p>本学科では、以下に示す資質・能力等を身に付けた者を受け入れます。</p> <p>(1) 高等学校の教育課程を修了し、高等学校卒業に相当する学力を身に付けている。</p> <p>(2) 論理的・社会的なものの見方・考え方ができる。</p> <p>(3) 保育者・教育者を目指す上で、保育、音楽、教育コースの専門的な分野に興味や関心を持っている。</p> <p>(4) 修得した知識や経験を保育・教育現場や社会で役立てたいという目的意識や意欲がある。</p> <p>(5) 自分の考えを論理的に考察し表現するなど、コミュニケーション能力を身に付けている。</p> <p>(6) 創造したり表現したりすることの技能が備わっている。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：本学ホームページ</p> <p>http://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/files/infopublic_senninkyoin.pdf</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1人	－					1人
ライフデザイン学科	－	2人	2人	1人	0人	0人	5人
こども学科	－	6人	4人	4人	0人	0人	14人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
2人		36人					38人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：大学ホームページ https://www.acoffice.jp/hsuhp/KgApp					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
FDネットワーク”つばさ“、北海道FD・SD協議会加盟、初任者研修会を含めFD/SD研修会を年数回実施、授業改善アンケートを年2回実施、希望者に対して授業コンサルテーションを実施、学生FD活動の学生指導と支援、学生FDのイベント参加及び実施支援							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
ライフデザイン学科	50人	22人	44.00%	100人	45人	45.00%	－人	－人
こども学科	140人	94人	67.14%	280人	232人	82.86%	－人	－人
合計	190人	116人	61.05%	380人	277人	72.89%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
ライフデザイン学科	30人 (100%)	1人 (3.3%)	19人 (63.3%)	10人 (33.3%)
こども学科	118人 (100%)	2人 (1.7%)	102人 (86.4%)	14人 (11.9%)
合計	148人 (100%)	3人 (2.0%)	121人 (81.8%)	24人 (16.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
北門信用金庫・㈱セントメディア・㈱ツルハ・㈱日東総業ながぬま温泉・㈱石川組・イオン北海道㈱・イオン北海道㈱・株式会社日本ハウスホールディングス・(医)徳州会 札幌東徳州会病院・㈱オンワード樺山・帯広信用金庫・㈱マーキュリー・㈱マーキュリー・(学)大藤学園 新さっぽろ幼稚園・保育園・(学)ふたば学園 苫小牧ふたば幼稚園・京急サービス株式会社(保育職)京急キッズランド保育園港町駅前・(社)こどもの杜 認定こども園えほんの森・(社)幌向保育会 幌向保育園・(社)明日萌 苫小牧みらい保育園・(学)景盛学園 宮ノ丘幼稚園・(学)華園学園 藤ヶ丘幼稚園・(学)華園学園 藤ヶ丘幼稚園・(学)釧路カトリック学園 根室カトリック幼稚園・(社)北ひろしま福祉会・(社)聖母				

会 児童養護施設 天使の園・(社)北光社ふくじゅ園 児童養護施設 北光社ふくじゅ園・礼文町(保育士)・砂川市(保育士)・岩内町(保育士)・赤平市(保育士)・南富良野町(保育士)
(主な企業のみ掲載)

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
ライフデザイン学科	34人 (100%)	29人 (85.29%)	0人 (0%)	4人 (11.76%)	1人 (2.94%)
こども学科	127人 (100%)	99人 (77.95%)	3人 (2.36%)	6人 (4.72%)	19人 (14.96%)
合計	161人 (100%)	128人 (79.50%)	3人 (1.86%)	10人 (6.21%)	20人 (12.42%)

(備考)
こども学科の留年者数には在学期間未了者数(1名)を含む。

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

全ての科目について、詳細なシラバスを作成している。作成に当たっては、学習支援委員会において、シラバス作成における記載事項を定め、シラバス記載要領とともに示し、記載方法の統一を図っており、授業担当者は、示された記載要領に沿ってシラバスを作成している。

シラバスの記載事項は、ねらいと到達目標、各回の授業計画と事前学習の明記、テキスト、参考資料、成績評価の方法並びにその割合、質問などへの対応、履修に際しての留意事項等としている。また、平成 29(2017)年度から、教授方法の工夫・開発の一環として、講義等におけるアクティブ・ラーニングの取り組みをより積極的に推進するため、具体的な学習形態等を明示している。

(様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】該当部分再掲)

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

単位認定については、各学部・学科のディプロマ・ポリシーを踏まえ、学則に示す基準に基づいて行われている。

単位認定の対象者については、①履修登録をした者、②授業時間の 3 分の 2 以上出席した者、③授業料、その他の納付金を納入した者を対象としている。

評価方法については、講義等における多様な評価方法をとることを推進しており、シラバスには成績評価の方法を記載している。評価方法は、筆記試験、実技試験、課題評価、作品評価、受講態度等共通項目をたて、評価の配分を示し、補足欄にその詳細を記載している。なお、評価については、S・A・B・C・D の 5 段階によって評価し、S から C までを合格とし単位が与えられる。

各科目における成績評価については、多様な評価手段を用いている。そのため、評価方法、評価の割合についてはシラバスに記載している。なお、段階を設けた成績評価の意味や数値、計算等については学生便覧に記載し、学生ポータル等も活用し学生には周知している。

(様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】該当部分再掲)

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
短期大学部	ライフデザイン学科	62 単位	有・無	— 単位
	こども学科	62 単位	有・無	— 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：GPAは、学生の履修指導、奨学金の選定、学業表彰対象者の選定等に活用されており、教員は、学生のGPAデータをもとに授業改善に役立っている。また、直前の学期GPAが1.5未満の学生に対しては、担任が履修指導を行っている。特に、2期連続で直前の学期GPAが1.5未満の学生に対しては担任と教育支援総合センターが連携して履修指導を強化している。CAP制度については導入していない。		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法： http://www.hokusho-u.ac.jp/studentlife/supportforedu/sl_supportoffice/survey/		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページ http://www.hokusho-u.ac.jp/studentlife/campusguide/
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	ライフデザイン	750,000 円	230,000 円	250,000 円	施設設備費
	こども	820,000 円		340,000 円	施設設備費・保育士資格履修費他
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 教育支援総合センターに、学生生活、学修全般にわたる質問などに対応する「何でも相談」窓口を設けている。多様な質問、疑問などに対応しうる体制を整え、必要に応じて、学部・学科、保健センター、学生相談室、障がい学生支援室（特別サポートルーム）、学習サポート教室など学内関係部署との連携を図っている。学修支援では、教員個々のオフィスアワーなどを用いた個別の指導、支援に加えて、授業評価を実施するなど学生の様々なニーズを把握し、理解するように努めている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 1. キャリア科目による就業力養成の確立 実践的なグループワークを中心としたキャリア科目を展開している。また、インターンシップに参加することで職業体験をし、就業力を高めている。 2. 個人面談の実施 年々変化し複雑化している就職状況の中、学生一人ひとりの状況を把握し支援する個人面談を実施している。学生は、個人面談をきっかけにキャリア支援センターを積極的に利用する。キャリア支援センターでは、学生と密に連絡をとり面談し進路が決定するまで支援している。

<p>3. 就職ガイダンスの実施 全学年の全学生を対象に4月実施。年度初めに学年ごとに必要なことを伝える。</p> <p>4. 学内企業研究会の実施 全学年の全学生を対象に毎年2月学内企業研究会を実施している。2019年2月は、参加企業等112社、延べ297名の学生が参加した。</p> <p>5. 就職活動対策セミナー 履歴書作成・エントリーシート作成・面接・グループディスカッション・求人の探し方・就職情報サイトの活用方法・ビジネスマナーなどのセミナーを実施している。</p> <p>6. 職業適性検査の実施 1年次に職業適性検査を実施し、自己分析や進路選択につなげている。</p> <p>7. キャリア支援センター 就活応援ブログ 「シューカツ!!」を運営 求人情報・卒業生情報・キャリア支援センターからの報告などをブログを通して紹介している。</p> <p>8. 魅力発見サークル「のっぺいす」の運営 就活応援ブログを通して、周囲にあるたくさんの魅力を紹介、発見するサークルを運営している。2月実施予定の学内企業研究会の運営サポートやキャリア科目の中で講義をサポートするなどの活動を通して就業力を養成している。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 学生の心身の健康等に係る支援に関する取り組み 本学は保健センターの中に保健センター、学生相談室、障がい学生支援室の3部門を含めている。それぞれの機能としては、保健センターでは健康で充実した学生生活を送ることができるよう、保健師や看護師が疾病予防や健康の保持・増進を援助することを目的としている。学生相談室では、心理的な悩みや、健康・学業・進路の悩みなど、大学生活に関することをカウンセラー（臨床心理士）が相談に応じている。また、障がい学生支援室（特別サポートルーム）では、コーディネータを中心として特に障がいのある学生が学習するうえで必要な支援のニーズに応じており、支援資源の提供や教員や施設と協働した支援体制を組織し、充実した学びの環境を提供できるよう配慮している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：本学ホームページ http://www.hokusho-u.ac.jp/hokusho/infopublic.html</p>
--